

# 袋井市

保存版  
2026年4月

# 浸水

Flood Hazard  
Map of  
Fukuroi City

# ハザードマップ ガイドブック



袋井市浸水ハザードマップ ガイドブックについてのお問い合わせ先

● 浸水想定に関すること

袋井市都市建設部土木防災課

袋井市新屋一丁目1番地の1

TEL : 0538-44-3166

● 避難に関すること

袋井市危機管理部危機管理課

袋井市国本2907番地

TEL : 0538-86-3703



洪水



内水氾濫

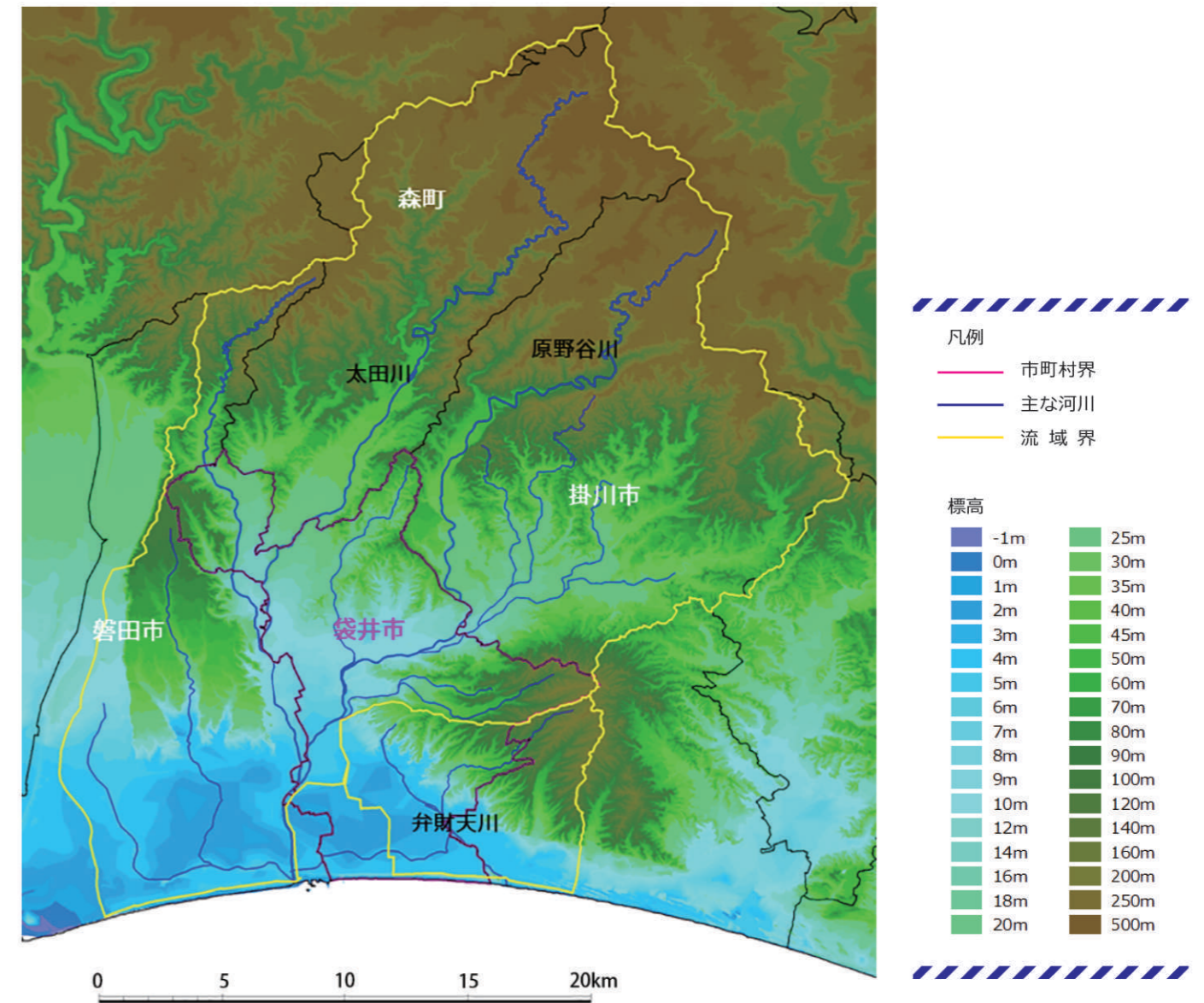
## 目次

|          |                 |        |
|----------|-----------------|--------|
| どうなる     | 袋井市の地形と災害特性     | 1      |
|          | 袋井市の水害          | 2      |
|          | 水害の進展イメージ       | 3      |
| どうする     | 災害に対する心得        | 4-5    |
|          | 避難時の留意点         | 6-7    |
|          | 雨の強さと降り方        | 8      |
|          | 警戒レベル           | 9      |
|          | 気象情報・避難情報の入手方法  | 10-13  |
|          | 非常持出品・備蓄品       | 14     |
|          | 避難先の確認・連絡       | 15     |
| ハザードマップ  | ハザードマップの見方      | 16-17  |
|          | 洪水ハザードマップ       | 18-19  |
|          | 浸水継続時間図【北部】     | 20-21  |
|          | 浸水継続時間図【中部】     | 22-23  |
|          | 浸水継続時間図【南部】     | 24-25  |
|          | 内水ハザードマップ       | 26-27  |
|          | 内水浸水継続時間図【北部】   | 28-29  |
|          | 内水浸水継続時間図【中部】   | 30-31  |
|          | 内水浸水継続時間図【南部】   | 32-33  |
|          | 避難行動判定フロー       | 34     |
|          | 指定緊急避難場所（洪水）一覧  | 35     |
|          | わが家の「マイ・タイムライン」 | 36-37  |
|          | 地域のちから          | 地域のちから |
| 避難訓練への参加 |                 | 40     |

## 袋井市の地形と災害特性

袋井市の地形は、太田川や原野谷川に沿って発達した平坦な沖積平野が多くを占めており、台風や集中豪雨などによる内水氾濫が発生しやすい地域です。堤防が決壊した場合には、市街地に大量の濁流が流れ込み、家屋の倒壊・流出、広範囲の浸水など甚大な被害が発生する危険性を有しています。

また、近年の気候変動により雨の降り方が激しくなっており、これまで浸水していなかった地域でも被害が発生するリスクが高まっています。



**袋井市の諸元**  
(令和7年12月1日時点)

面積：108.33km<sup>2</sup>  
人口：87,562人  
世帯数：37,724世帯

## ● 台風の巨大化、 広域的な大雨の頻発

近年では地球温暖化による気候変動の影響等によって、雨の降り方が大きく変わってきています。台風の巨大化や線状降水帯の発生により、毎年各地で記録的な大雨を観測しています。

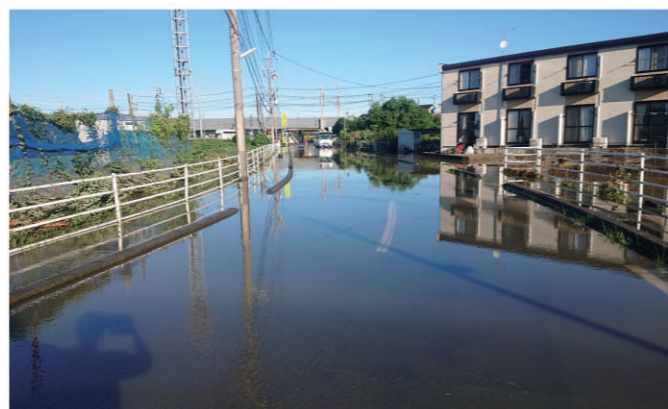


令和4年9月 台風15号 岡野橋

## ● 袋井市の水害

市内では、放流河川の水位上昇による内水氾濫により、道路冠水や住宅の浸水被害が発生しています。

特に令和4年9月の台風15号では、全市域が豪雨に襲われ、大きな被害を受けました。



令和4年9月 台風15号 高南地区



令和4年9月 台風15号 明治橋



令和4年9月 台風15号 新屋橋

いつも通り  
雨が降りだす...



市内や周辺にたくさんの雨が降ると...

内水氾濫



市内や周辺に多くの雨が降りつづくと...



さらに強い雨が降りつづくと...



気候変動のため雨の降り方が激しくなっており、過去に水害が発生していない場所でも浸水するおそれがあります。経験にとらわれず、最新の気象情報などを確認して早めの避難を行いましょう。

短時間の強雨などにより、雨水の排水能力が追い付かなくなったり、排水先の河川水位が上昇して水の行き場がなくなると、低いところに雨水が溜まります（内水氾濫）。場所によっては深いところや流れが速いところがあり、外出や移動が危険な状況です。



長時間、広い範囲の豪雨が続くと中小河川が氾濫し、深いところでは3m以上浸水したり、川の近くでは家が流されることもあります。また、地面が水を含み、土砂災害が発生しやすくなります。

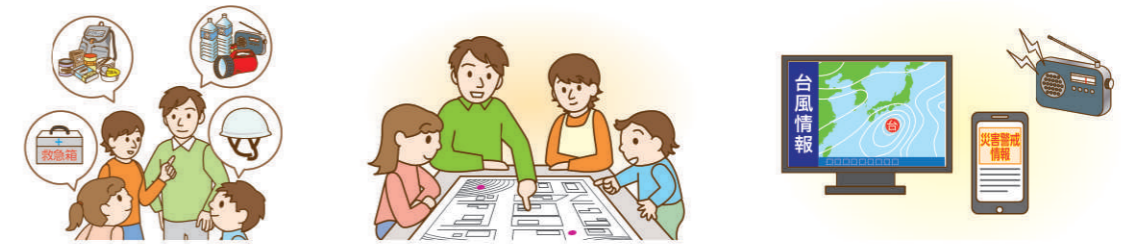


さらに強い雨が続くと大きな河川の水位も上昇します。大きな河川が氾濫すると市街地に大量の濁流が流れ込み、家屋の倒壊・流出、広範囲の浸水、土砂による甚大な被害が発生します。流域が広いので、雨がやんでも遅れて水位が上昇する場合もあり注意が必要です。





自分の命を守るのは自分です。  
自分だけは大丈夫と思わず、  
災害への心構えをしてください。



CAUTION!!

1

『水害が  
起きるかもしれない』

という前提で行動する

「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われますが、最近は「災害は忘れぬうちにやってくる」と言えるほど雨の降り方が変わりつつあります。

CAUTION!!

4

自分の身は  
自分で守る

災害による犠牲者をなくすには、「いざというとき、自分の身を守るのは自分自身である」という基本認識を持つことが重要です。

CAUTION!!

2

考えられる状況と  
地域の特性から  
水害を  
イメージする

水害の現場では、「まさかここまで水がくるとは思わなかった…」という言葉をよく聞きます。雨が降りだしてから、その先に起こるかもしれない水害の状況は、地域の特性によって様々です。

CAUTION!!

5

情報は  
自分で取りに行く

自らいち早く情報を得ることが大切です。テレビ・ラジオ・インターネット・隣近所の声かけなど、様々な方法で情報が発信されますので、最新の情報に注意するように心がけましょう。

CAUTION!!

3

避難するか？  
とどまるか？  
命を優先し、  
最善をつくす

浸水が始まる前に安全な場所に避難することは重要なことですが、浸水の中を無理に避難することは非常に危険です。状況に応じて適切に行動することが大切です。

CAUTION!!

6

想定に  
とらわれない

ハザードマップは、ある一定の条件やシナリオを想定して作成されています。実際に発生する水害は、想定どおりになるとは限りません。相手は自然で、想定外のこともあり得ることを理解しましょう。

# 避難時の留意点

- どこに逃げるのか事前の確認が大切です。  
安全に落ち着いて避難できるよう準備しましょう。

## ① 安全な避難経路の確認

浸水に対して安全な避難先とルートの日頃から家族や地域で確認しておきましょう。



## ② 正確な情報収集と早めの避難

浸水してからの自宅外避難は危険です。テレビ、ラジオ、インターネット等で最新の気象情報、災害情報、避難情報を収集し危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。



## ③ 動きやすい服装と非常持出品を持って避難

避難時の事故防止のため、動きやすい服装で、できるだけ家族や隣近所等とともに避難しましょう。

持ち物はリュックサックで、手は自由に、長靴よりひも付き運動靴で避難しましょう。



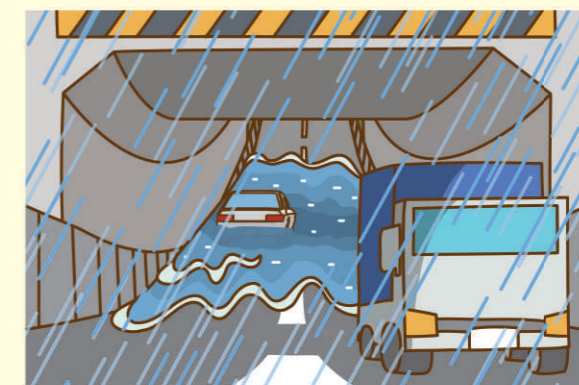
## ④ 氾濫水に対する知識

氾濫水は勢いが強く、ひざくらいの水深があると大人でも歩くのが困難で危険です。無理に移動せず、屋内で安全を確保（垂直避難）しましょう。自宅などに2階がない場合には、近所に避難する判断も大切です。水に立ち向かうのではなく、水から逃げましょう。人も車も簡単に流されます。一番重要なのは、流れる水に近づかないことです。



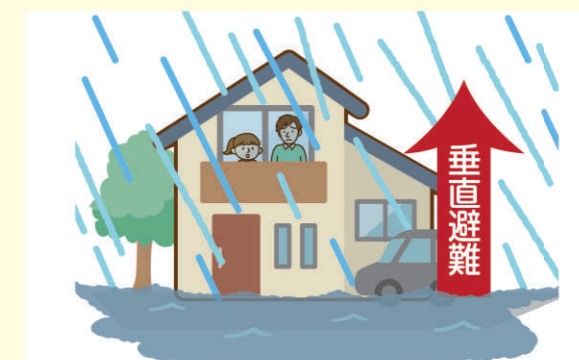
## ⑤ 車で避難する時の注意

浸水しているアンダーパスで動けなくなる事例や川沿いの道路で川に転落する例など、車での避難中に命を落とす事例が多数発生しています。一般的に浸水深が30cm以上では車の走行が困難となります。



## ⑥ 浸水が生じている場合や避難が遅れた場合

避難のための時間を確保できない場合や、予定された指定緊急避難場所等に避難することが難しいと判断される場合は、自宅の2階以上など安全な建物へ避難（垂直避難）してください。



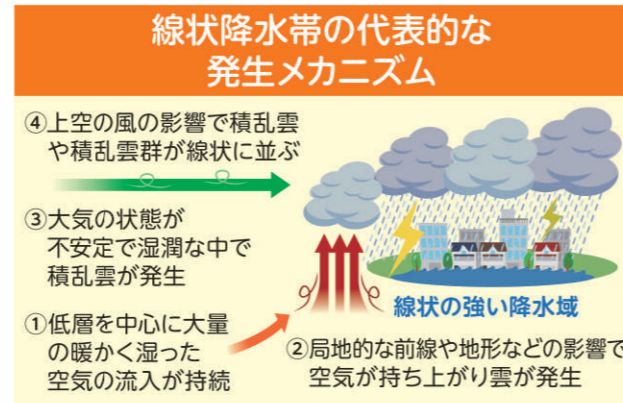
# 雨の強さと降り方

- 天気予報では、雨の降り方を「激しい雨」や「非常に激しい雨」などと表現されます。雨の強さの表現と雨量の目安は、下表のように分類されていますので、これを活用して防災気象情報をより身近なものにしてください。安全に落ち着いて避難できるよう準備しましょう。

| 雨の強さの表現 | 雨量の目安       | 雨の降り方の様子                         | イメージ |
|---------|-------------|----------------------------------|------|
| やや強い雨   | 1時間に10～20mm | ザーザーと降る雨で、地面からの跳ね返りで足元が濡れます。     |      |
| 強い雨     | 1時間に20～30mm | どしゃ降りの雨で、傘をさしていても濡れてしまいます。       |      |
| 激しい雨    | 1時間に30～50mm | バケツをひっくり返したように降る雨で、道路が川のようになります。 |      |
| 非常に激しい雨 | 1時間に50～80mm | 滝のようにゴーゴーと降り続く雨で、傘は全く役に立たなくなります。 |      |
| 猛烈な雨    | 1時間に80mm～   | 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨です。       |      |

## 線状降水帯

線状降水帯とは、特定の地域において、長い帯状に集中して降雨が発生する現象を指します。この降水帯は、前線や地形などの影響によって形成され、長時間にわたり同じ場所に滞留することがあるため、非常に強い雨をもたらすことがあります。この現象により、局地的な大雨や洪水が発生する危険性が高くなります。



## Notice 1時間に10mmの雨でも、降り続けると?

1時間に10ミリメートル～20ミリメートルのやや強い雨が数時間にわたって降り続けるおそれがあります。



「1時間に10mmの雨」とは、雨水が別の場所に流れず、そのまま溜まる状態で、「1時間に雨水が1センチの高さまで溜まる」規模の雨です。たった1cmと思われるかもしれませんが、この雨が長時間降り続けると、雨の排水経路である河川や水路の許容能力を超え、洪水が発生します。特に河川流域や都市部の低地には降雨が集中し、水が滞留しやすいので注意が必要です。

# 警戒レベル

- 「警戒レベル」は大雨や洪水などの災害リスクと取るべき避難行動を1～5の5段階で示した情報です。

レベル4で  
全員避難

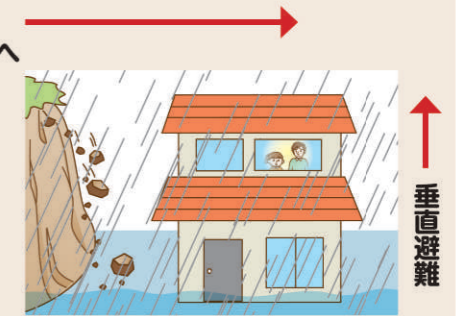
危険度 ← 低 → 高 →

| 警戒レベル  | 1        | 2               | 3                         | 4                | 5                           |
|--------|----------|-----------------|---------------------------|------------------|-----------------------------|
| キキクル   | —        | 注意<br>(注意報級)    | 警戒<br>(警報級)               | 危険               | 災害切迫                        |
| とるべき行動 | 心の備えを高める | 避難行動の確認         | 避難に時間を要する人は避難<br>・他の住民は準備 | 危険な場所から<br>全員避難  | 命を守る<br>最善の行動               |
| 河川氾濫   | 早期注意情報   | レベル2<br>氾濫注意報   | レベル3<br>氾濫警報              | レベル4<br>氾濫危険警報   | レベル5<br>氾濫特別警報              |
| 大雨     | 早期注意情報   | レベル2<br>大雨注意報   | レベル3<br>大雨警報              | レベル4<br>大雨危険警報   | レベル5<br>大雨特別警報              |
| 土砂災害   | 早期注意情報   | レベル2<br>土砂災害注意報 | レベル3<br>土砂災害警報            | レベル4<br>土砂災害危険警報 | レベル5<br>土砂災害特別警報            |
| 市が発令   | —        | —               | 高齢者等避難                    | 避難指示             | 緊急安全確保<br>※必ず発令されるものではありません |

警戒レベル4までに必ず避難!

## 命を守る最大限の行動を

急激な雷雨で外に出るのが既に危険な状況の場合は、今いる場所やその付近での安全の確保を第一に考えましょう。危険が切迫している場合は、指定された避難所への移動だけでなく、屋外への避難が危険だと判断したら自宅や近隣の頑丈な建物の2階へ垂直避難し、救助を待つことも検討してください。



- 例えば
- ・市から「緊急安全確保」が発令された場合
  - ・就寝している間に急激な降雨ですでに逃げ遅れてしまった場合
  - ・すでに浸水深がひざ上(50センチ)以上に達している場合
  - ・避難経路上の流水で足を取られて転倒の危険がある場合
  - ・増水で水路の位置が見えない場合

屋外での移動は危険です

## ● 情報は自ら取得し最新の情報を入手することが大切です。

洪水災害や土砂災害の危険が近づいているときは様々な情報が発信されています。

しかし様々な要因で、情報があなたの手元に届きにくくなる場合があります。

情報をただ待つだけでは、いつの間にか状況が悪くなり、避難のタイミングを逃してしまうおそれがあります。災害が発生しそうなときには、自ら情報を収集し、周りの状況に注意するよう心がけましょう。

- ▶ 暴風雨の中で雨戸を閉めきって寝ていたら…
- ▶ テレビ・ラジオをつけていなかったら…
- ▶ 停電だったら…



### 顕著な大雨に関する情報

顕著な大雨に関する情報とは、気象庁が発表する、特に強い雨が予想される場合に提供される情報のことです。

この情報は、今後の降雨が激しい可能性があることを知らせ、注意を呼びかけるためのものです。具体的には、降雨量や地域、予想される影響などが含まれ、自治体や住民が注意を払うべき指標となります。市内の降雨量が多くなっても、上流の山地で大雨が降ると洪水となって袋井市内に影響を与えることがあるので、広い範囲の雨量や水位の情報に注意しましょう。

## ● 自動配信されるもの (PUSH 型)

### スマートフォンアプリで受け取る

#### ● 静岡県総合防災アプリ

各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えたスマートフォン向けアプリです。

#### 登録方法

アプリをインストールして、ご利用の地域を設定してください。アプリは下の二次元コードからアクセスできます。



#### ● NHKニュース・防災

台風の進路予想や河川の洪水に関する情報が掲載されています。

#### ● NHKネットラジオらじる★らじる

インターネットでNHKのラジオ放送が聴けるアプリです。

#### ● 同報無線 (防災行政無線)

### メールやLINEで受け取る

#### ● 袋井市情報配信サービス「メローねっと」

災害時の市からのお知らせや気象災害情報、同報無線の放送内容などの情報をメールやLINEで受け取ることができます。

#### 登録方法

右の二次元コードからアクセスし、メールアドレスへ空メール (件名・本文は不要です。) を送信してください。



#### ● 緊急速報メール

緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します。

#### 登録方法

設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社各社へお問合せください。



#### ● データ放送

データ放送に対応しているテレビでは「dボタン」を押すことで、気象情報や災害情報を確認することができます。



## ● 自身で情報を収集するもの (PULL 型)

| 情報先                               | インターネットアクセス   | 入手できる情報                       |
|-----------------------------------|---|-------------------------------|
| 気象庁<br>ホームページ                     | <a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>   | キキクル<br>中小河川の洪水被害や土砂災害発生危険度   |
| 袋井市<br>ホームページ                     | <a href="https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/">https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/</a> | 市内の様々な災害・防災情報など               |
| 袋井市気象観測システム                       | <a href="https://fukuroi.tenki.ne.jp">https://fukuroi.tenki.ne.jp</a>                     | 市内の雨量、河川水位、国や県が発信する気象関連情報など   |
| 静岡県/<br>サイポスレーダー<br>(PC、スマートフォン用) | <a href="https://sipos.pref.shizuoka.jp/">https://sipos.pref.shizuoka.jp/</a>             | 雨量、河川水位<br>ライブカメラ<br>注意報・警報など |

## ● 気象庁が提供する危険度分布「キキクル」

「キキクル」は、大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

### 4種類の分布情報

- 浸水キキクル: 大雨警報(浸水害)の危険度分布
- 洪水キキクル: 洪水警報の危険度分布
- 土砂キキクル: 大雨警報(土砂災害)の危険度分布
- 大雨キキクル\*: 浸水キキクルと洪水キキクルの危険度分布を重ね合わせた危険度  
\*2026年5月下旬(予定)から開始



# 気象情報・避難情報の入手方法

## ● 雨量や河川水位は、インターネットやスマートフォンで確認できます。

袋井市が運用する「袋井市気象観測システム」は、国/県/市が発信する気象関連情報を一括して確認できる総合防災プラットフォームです。

### 主な機能・特長

- ・雨量、水位、浸水、風向・風速などをリアルタイムに集約表示。
- ・気象庁のデータ（降水ナウキャスト、土砂情報キキクル、特別警報・警報・注意報）を地図上に重ねて表示。
- ・静岡県の「サイポスレーダー」を利用した河川監視カメラと水位情報データを連携。
- ・警報等発令時にはシステムのトップ画面にアラート表示。



## ● 静岡県「サイポスレーダー」

静岡県が構築した土木総合防災情報システムです。

県民が大雨・台風・河川状況・災害リスクを即時に把握し避難判断に役立てられるよう作られています。

気になる水位や雨量の観測箇所をクリックすると、現時点の観測値や過去の変化を見ることができます。

県の水位観測所では、避難判断の目安となる氾濫危険水位、避難判断水位が設定されている地点があります。水位の変化に注意して避難行動の参考にしましょう。

| 河川流域     | 観測所名     | 所在地    | 氾濫危険水位 (cm) | 避難判断水位 (cm) |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|
| 太田川 (上流) | 天方 (県)   | 周智郡森町森 | 280         | 240         |
| 太田川 (中流) | 新貝 (県)   | 磐田市新貝  | 460         | 430         |
| 太田川 (下流) | 豊浜 (県)   | 磐田市豊浜  | —           | —           |
| 敷地川      | 笠梅橋 (県)  | 磐田市笠梅  | 584         | 540         |
| 宇刈川      | 横手橋 (県)  | 袋井市久能  | 320         | 280         |
| 原野谷川     | 山名 (県)   | 袋井市袋井  | 700         | 650         |
| 逆川       | 金城橋 (県)  | 掛川市金城  | 490         | 450         |
| 逆川       | 細田 (県)   | 掛川市細田  | 610         | 520         |
| 弁財天川     | 昭和水門 (県) | 袋井市中新田 | —           | —           |

## ● 非常持出品を準備しておきましょう。

洪水に備えて指定緊急避難場所などに避難するときは、非常持出品や、各自必要なものを持って避難してください。非常持出袋には、両手のあくリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみましょう。自らが十分な準備をすると安心です。

- ❶ 非常持出袋があまりにも重いと避難行動に支障があるので、重すぎる場合は中身を減らしましょう。
- ❷ 水を注ぐだけで簡単に食べられる、比較的軽い乾燥食品を用意しましょう。
- ❸ 各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。

check

### ☑ 非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの

- 携帯電話充電器  携帯ラジオ  非常食（カンパンなど）・飲料水
- 懐中電灯（予備の電池も）
- 生活用品（ライター、ナイフ、缶切り、ティッシュペーパー、ビニール袋など）
- ろうそく（太くて安定のよいもの）
- 衣類（下着、上着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなど）
- 救急薬品  
（ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、かぜ薬、鎮痛剤、目薬、とげ抜きなど）

check

### ☑ 家族構成によって必要なもの

- 雨具（カッパ）  手袋  ヘルメット（防災ずきん）
- 高齢者や障がい者のための準備品（介護用品など）

check

### ☑ 乳児や幼児のための準備品

- ミルク  離乳食  紙おむつ  おしり拭き  おもちゃ

check

### ☑ 避難時の必需品

- 生理用品  常備薬（持病がある方は忘れずに）  袋井市浸水ハザードマップ（この冊子）
- 貴重品（預金通帳、健康保険証、免許証、マイナンバーカード、住所録のコピーなど）

check

### ☑ あると便利なもの

- 毛布・寝袋  カセットコンロ  使い捨てカイロ  割りばし
- 床に敷くシート  モバイルバッテリー

MEMO

---



---



---



---

## ● 災害が発生する前に『避難』について家族で話し合っておきましょう。その時では逃げ遅れてしまう危険性があります。

避難について、早い段階での避難先と逃げ遅れたときの避難先を検討しておきましょう。

|   |              |   |
|---|--------------|---|
| 1 | 自宅などの危険性の確認  | 浸水ハザードマップで自宅（または会社・学校など）の浸水や土砂災害の危険性を確認しましょう。         |
| 2 | 自宅にとどまれるかの確認 | 早期の立退き避難が必要な区域（P.16-17 参照）や土砂災害の危険性のある区域では立退き避難が必要です。 |
| 3 | 避難先の確認       | 早い段階での避難先・逃げ遅れたときの避難先を確認しましょう。                        |

|  |   |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
|--|---|----|------|------|--|----|------|------|--|----|------|------|--|----|------|------|--|
| <p>家族で決めた集合場所</p><br><br><p>家族で決めた連絡方法</p> | <p>家族・親戚・知人の緊急連絡先</p> <table border="0"> <tr> <td>名前</td> <td>MEMO</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名前</td> <td>MEMO</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名前</td> <td>MEMO</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名前</td> <td>MEMO</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td></td> </tr> </table> | 名前 | MEMO | 電話番号 |  | 名前 | MEMO | 電話番号 |  | 名前 | MEMO | 電話番号 |  | 名前 | MEMO | 電話番号 |  |
| 名前   | MEMO  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
| 電話番号                                       |   |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
| 名前   | MEMO  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
| 電話番号                                       |   |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
| 名前   | MEMO  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
| 電話番号                                       |   |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
| 名前   | MEMO  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |
| 電話番号                                       |   |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |    |      |      |  |

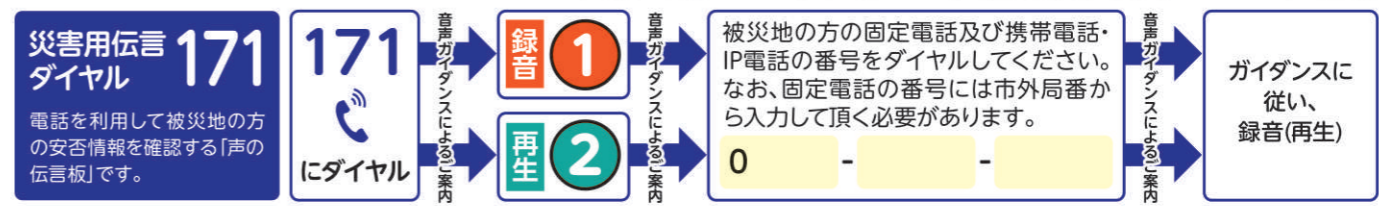
## ● 災害用伝言ダイヤル

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

- 伝言の録音** 171-1-XXXX-XX-XXXX（被災地の方の電話番号） **伝言保存期間** 運用期間終了まで
- 伝言の再生** 171-2-XXXX-XX-XXXX（被災地の方の電話番号） **伝言蓄積数** 1電話番号当たり1~20件
- 伝言内容** 1伝言あたり30秒以内 **利用可能電話** 固定電話、IP電話（050含む）、携帯電話

## ● あなたの無事を伝えましょう

体験利用日：「毎月1日及び15日」、「正月三が日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」



※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。